

改善計画書

施設名 みはた虹の丘こども園

(担当者 松井加奈子 )

(作成年月日 令和6年3月14日作成)

改 善 事 項 等								施設コメント
さらさら こども園 (施設として) 特別な 環境を 実現す ること	1	「気づく、考える、やってみる」の保育理念を意識しながら職員自身が子どもの気持ちや、行動、育ちの面に対して気づき、自ら考え、それぞれに必要な学びを深めながら、子どもに向かう姿勢を継続していく。						
	2	「食育」を通して地域とつながり、人が集まるコミュニティとして地域に根付いたこども園になるために実践を深める。						
	3	安全対策の視点から事故に対する対策や安全な環境作りに努める。子ども自身に危機管理能力を育むことが出来る取り組みを通してこどもの今と未来の命を守る。						
	4							
	5							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
虹の丘 こども園 (施設として) 特別な 環境を 実現す ること	1	○職員の目標の明確化 職員自身が保育士として目指す目標を明文化する。	目標を達成するために具体的な取り組みに挑戦する。	1年間	2024.4	2025.3	台紙を配布、1年間通して自身が「なりたい自分」をテーマにして具体的な取り組みを記入、共有を行う。	全職員・園長・副園長
	2	○保育マニュアルの更新 現在ある保育マニュアルの内容を確認し合うことで、子ども中心保育に対して意識の向上を目指す。	誰が見ても虹の丘こども園の大切にしたい保育が理解できるようなマニュアルの完成。	6か月	2024.4	2024.10	現在実在するマニュアルの見直しを行い、課題意識をもって協議。	主任・担当職員
	3	○一人一人の子どもに応じた適切な保育マニュアルの作成。 マニュアルの職員周知を行い、実践につなげる。	マニュアルに基づいた保育実践。	6か月	2024.4	2024.10	新しいマニュアルを作成しファイリング、職員周知、マニュアルに基づいた保育実践。	主任・全職員
	4							
	5							
工夫す ること (施設として) 特別な 環境を 実現す ること	1	○目標に向けた具体的な取り組み内容とわかりやすい評価設定 定期的な面談や日常の隙間時間に個人の目標に対するアドバイスや指導を行う。	職員が自身の保育に対して達成感を感じると共に園全体の保育の質が向上する。	1年間	2024.4	2025.3	定期的な面談実施。日常的な会話の時間を意識してもつ。	園長・副園長・主任
	2	○職員の保育観を知る 各PJの中で子どもへの関りや保育について振り返る場をもち全体の保育力の向上を目指す。	職員が子どもの心の動きに気づく力をもつ。	1年間	2024.4	2025.3	職員に趣旨を発信。計画的な会議の実施。(各PJの開催と時間の確保)	全職員・園長・副園長
	3	○職員の保育に対する自信を育む 職員が自分の言葉で話をする機会をもち、気づく、考える、実践することの面白さを実感できるようにする。	職員が自分の強みを活かしてやりがいを感じながら保育を行う。	1年間	2024.4	2025.3	子どもとのかかわり、様々な出来事を通して職員自身が心を動かし、考える力を育む。職員会議、研修の実施。	園長・副園長
	4							
	5							
予算化 すること (施設として) 特別な 環境を 実現す ること	1	職員一人一人がキャリアアップできる機会を可能な限り持つようにする。	園外、園内、Zoom、セミナー、園内研修等を実施して職員のスキルアップとワークショップの実践から職員の知識向上、風通しの良い職場となる。	1年間	2024.4	2025.3	キャリアアップ研修、各研修への積極的な参加、書籍の紹介、自己研鑽勉強会、研修後のワークショップなど	園長・副園長
	2							
	3							
	4							
	5							